

平成25年度冬季休業前集会（H25. 12. 16）

22（日）が冬至

○ はじめに～区切りの時には、振り返りが大切。夏季休業開け集会の話から。

△ 安積で学ぶこと

8 / 26

～教育環境としては（ハード面を除き）県下一、東北・全国有数

「学ぶこと、生きること」は、最後は孤独な営み。

たくさんの選択肢の中から一つを選び取る決断をする、  
それを絶えず繰り返すことが生きること。

→ 人それぞれ書を読んでゐる良夜かな 山口青邨

・ 130年の歴史と伝統、実績、

卒業後も続く安積の絆 → 安積桑野会の支部

素晴らしい教師、素晴らしい仲間（学友）

→ 教えたり、教えられたり、刺激を与えたり、与えられたり

○ 日本漢字能力検定協会（京都市）12 / 12 清水寺の森貫主<sup>かんす</sup>  
今年の漢字「輪（わ）」

2020 東京五輪 台風等自然災害への支援の輪

→ 「ASAKA」という大きな輪の存在（関わり方は人それぞれ）

.....

3年生は「何を今さら」の感があるかもしれないが、大学生になっても大切な話だと思うので、簡潔に。

（学校で）学ぶことを確実に身に付けるためには、紙の存在が欠かせない。

e x. 英単語・漢字を見る、自分で発音する、手を使って紙のノートに書く、  
何度も書く、手が痛くなるほど書く、  
一晩でボールペンのインクが半分になるまで書く、

この当たり前の地道な繰り返しが記憶を定着させ、40年50年経っても忘れない、或いは忘れていてもちょっとしたきっかけやヒントで因数分解や微積分ができたり、平家物語の冒頭がすらすらと出てくる、ということになるのだと思う。

今でも印刷室で、先生から計算用紙を貰っている生徒を見かける。

私も大いに活用したが、無い時もあるので自分でザラ紙を買った記憶がある。

これ以上書けなくなった紙の束が、自分の部屋の机の横に少しずつ高くなっていく、それを励みに勉強した経験。